

# 「ひと・地域・資源」を活かし一歩先行くまちづくり 夢を実現にするための3つの挑戦



所信表明を述べる鈴木重男町長【9月6日、葛巻町議会9月定例会議】

9月6日、葛巻町議会9月定例会議が開催され、再選し4期目を迎えた鈴木重男町長が所信表明を述べましたので、その要旨をお伝えします。

「平成」から「令和」に改元され、新たな時代が幕を開けた年に多くの町民の皆さまから暖かいご支援を賜り、4期目の町政のかじ取り役を担わせていただくことに心から感謝するとともに、改めて責任の重さを感じているところであります。

人口減少問題がさらに厳しさを増していく中で「ひと・地域・資源」を活かし「一歩先行くまちづくり」に果敢に挑戦し夢を実現にするため、今後、4年間にわたって町政を担うにあたり、私が考える「3つの挑戦」を軸とした「まちづくり」について申し上げます。

## 挑戦1 魅力あふれる「まち」づくり

若者世代が暮らしたくなる住宅環境の整備  
人口減少を解決していく上で、若い世代が移住定住できる魅力ある生活環境の構築は重要であり、これまでも定住住宅の整備や住宅取得に関する

る助成を行ってきたところであります。さらなる制度の拡充を検討していくほか、空き家となっている物件の有効活用や水洗化率の向上を図り、受け入れ環境の強化、充実に努めてまいります。

## 交通ネットワークの充実

道路は物流のみならず、救急医療をはじめ地域経済、都市との交流など、地域活動を支える重要な社会資本の一つで、利便性、安全性、快適性の向上が急務であり、県北地域の沿岸部と内陸とを結ぶ北岩手・北三陸横断道路の整備促進やまちなか活性化に向けたパイパス機能の強化、子どもや高齢者などの交通弱者のために利便性の高い公共交通の構築などの充実にも取り組んでまいります。

## 安全安心を守るまちづくり

自然災害が多発する中、自らの命は自らが守るという防災に対する意識を高く持ち、あらゆる災害に対し、迅速かつ的確に対処できるように地域防災力の強化や消防救急体制の充実にも努めてまいります。また、水道施設の改修や地域医療体制の充実などといった日常生活での安全安心につ

いても、しっかりと確保してまいります。

## 拠点施設機能の充実

少子高齢化が進む中、多様な目的を持つ利用者の利便性を高めるため、各種サービスや機能を集約化した新たな「まちの拠点」となる新庁舎、複合施設を整備することで、来訪者の回遊性やまち場にぎわい創出に努めてまいります。また、有事の際の防災拠点としての役割を付加することで、流動性のある活発な町民活動を誘発する拠点にしてまいります。

## 挑戦2 光り輝く「ひと」づくり

### 子育てしやすい環境の整備

若い世代が安心して在宅での子育てや子育てと仕事との両立ができるよう、すべての園児の保育料の完全無料化や児童生徒の給食費の無料化など経済的な負担の軽減を図り、家庭や地域、職場で支え合う援助体制の充実などに努めてまいります。

### 次代を担う人材教育

子育て環境から小・中学校、高等学校教育まで連携した教

の高いサービスを提供していくことはもとより、協働、協創の精神のもと、町民の皆さまとの信頼関係、協力関係をより深めながら、共に歩み続け夢を実現にすることで、町の持つ豊かさや魅力をさらに高め「山村のモデル」として光り輝き続けていきたいと考えております。

## 魅力ある雇用の創出

経営者の高齢化や後継者の不在、あるいは雇用のミスマッチによる人手不足が深刻な状況にある中で、意欲と熱意を持った起業家を誘致し、新たな雇用の創出に取り組むほか、後継者となる人材の確保と育成を図るため継業支援による技術の継承を進めるなど、町民所得の向上に取り組む誰もが安定した生活を送れる環境の構築に努めてまいります。

## 町の資源を活用した観光交流の促進

くずまき型DMO事業を活発化させ町の特徴や産物を活かした特産品の開発、さらには、地域特性を活かした体験型の観光を推進するとともに、トヨタとの包括連携協定の取り組みを加速させ町の魅力や情報を効率的かつ積極的に発信し、葛巻ファンの増加と誘客促進につなげ拡大コミュニティを構築してまいります。

以上、町政運営を進めるにあたっての、私の所信の一端を述べさせていただきます。今後とも、職員と一丸となり、行政自らが知恵と行動力を持った組織となり、より質

育に取り組むことで就学前教育の充実、児童生徒の学力向上を図るほか、国際理解、情報、キャリア教育の充実に努めてまいります。また、葛巻高校の存続、1学年2学級の維持は教育機会の均等を確保する上で重要であり、引き続き山村留学制度を推進し、学習塾での学力向上はもとより郷土理解の醸成などに取り組んでまいります。

## 高齢者の生きがいを広げよう 地域福祉の推進

現在、町の高齢化率は45%を超える状況にあります。高齢者が住み慣れた地域で健康に生き生きと暮らせるよう高齢者の就労の場を拡充し、活躍できる場を確保するとともに、地域包括ケアシステムの充実や心と体の健康づくりのための支援など、介護予防の推進と自主的な健康管理を促進してまいります。

## 文化スポーツ活動の機会づくり

町では、平成28年の希望郷いわて国体の開催を契機にスポーツイベントと観光とを融合させ、交流人口の拡大や地域経済への波及効果などを目指す取り組みとしてスポーツツーリズムを推進しており、

さらなる拡充に向けた取り組みに発展させていくほか、後継者不足が課題となっている地域の伝統文化についても、しっかりと次世代に継承できるように、さまざまな支援を検討してまいります。

## 挑戦3 元気に満ちた「くずまき」づくり

### 未基幹産業の新たな展開と発展

安全安心で高品質な農畜産物を生産し、多様化する消費者ニーズに対応していかねばならない一方で、後継者不足や従事者の高齢化が加速している中、効率的で生産性、収益性が高い魅力ある農業を確立するため新葛巻型酪農構想を推進し、雇用を創出でき

## 商店街のよきかたちづくり

### 商工業の発展

イベントなどを通じて、まちなかの活性化に取り組んでまいりましたが、より日常的なにぎわいに発展させていくため個店の魅力向上や創業支援などに取り組むとともに、空き店舗の有効活用や町家（旧遠藤邸）など、まちなかの拠点となる施設の活用と商工業者との連携により、まちなかエリアの周遊性・回遊性を高めるため、エリアビジョンの実現に努めてまいります。

以上、町政運営を進めるにあたっての、私の所信の一端を述べさせていただきます。今後とも、職員と一丸となり、行政自らが知恵と行動力を持った組織となり、より質



建設が進められている上外川風力発電所【9月15日撮影】